

第31回

うつのみやこども賞だより

平成26年度 6回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間が一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『ロード』

山口理／著（文研出版）



～読んだ本の感想より～

- バラバラだった家族が、キャンピングカーの旅ですこしずつ一つになっていったのがいいなと思った。
- 家族がパズルのピースのようにつながってよかったです。私もキャンピングカーに乗ってみたいです。
- いつもはたよりないお父さんだけど久種湖で子供を守った時や、夏休みの旅行の時はお父さんの本当の姿が見れました。
- キャンピングカーを買ったわけがきずなをふかめるためだとわかった時は感動しました。
- 自分の知っている道の駅があっっておもしろかったです。
- 久斗がだんだん家族のことを考えて行動するようになるのがよかったです。

『夏休みに、翡翠をさがした』

岡田依世子／著（アリス館）

- 3人いるとはいえ、立入禁止の所へ入ったので、えーとおどろきました。わたしはその勇氣はないな。
- 私もいっしょに翡翠をさがしてみたいです。でも洞窟に入ってでれなくなるのを考えると少しこわいです。
- 玉江はやっぱりおじいちゃんの血をうけついでいるんだなと思いました。
- ふだんはよもうとは思わない本だったけれど、読んでみたらいいにおもしろくて、読んでよかったです。

『ハングリーゴーストとぼくらの夏』

長江優子／著（講談社）

- 最初の1ページから冒険が始まる。そこがとてもおもしろかったです。
- 菌糸が巻きついていたので菌で結ばれているんだなと思いました。
- この本の中で私は、日本人はたくさんのひどいことをしたんだと思い、ちょっとショックでした。
- シンガポールの話なのにとっても「日本」な感じがした。間中とカズの友情とか3人の葛藤がよかったです。

『ブサ犬クッキーは幸運のお守り？』

今井恭子／著（文溪堂）

- クッキーの目線で物語がすすんでいくところがおもしろかった。
- クッキーの苦労と不安が読んでいておもしろかった。
- 田中さんがクッキーにひどいあつかいをしていてクッキーがかわいそうだなと思いました。私が犬だったらぜったいにゆるしません。
- ふだん気になっている犬の気持ちが書かれていたのでおもしろかったです。

2014年11月2日